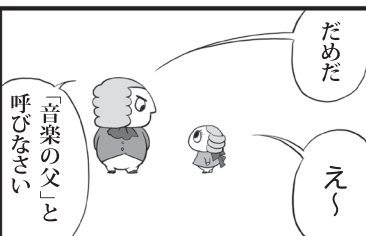
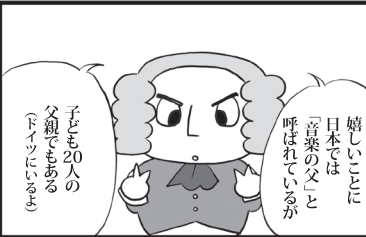


バッハです②

漫画: 東園子



（今回の座談会は、3月24日（金）開催です！）

毎回ご好評をいただいている、松井美香先生のコラム「勇気づけのピアノレッスン」は、今月号より3年目に突入します。座談会の他に、新しい企画も続々と進めております。どうぞご期待ください♪

叱ると一時的には効果がある。しかし本質的な解決にはならない。むしろ、相手は活力を奪われ、ますます言うことを聞かなくなるだろう。

（アルフレッド・アドラー「人生に革命が起きる100の言葉」ダイヤモンド社 小倉広著より）

アドラー心理学を実践する私は、基本的に「叱る」「褒める」をしないのですが、セミナー等でお会いする先生に、こんなご質問を受けることがあります。「子どもが悪いことをしたら、おとなが叱るのは当然のこと。そういうことを教えるのが、指導者や親の役目なのではないですか?」といった内容です。そんな時に私は「はい。そうですね。それも、手段の一つではありますが、叱らなくても指導はできますよ。」こんなふうにお答えしています。かつて、多くのピアノの先生は、生徒がレッスン前に練習してこない「なんで練習してこない?」「うまくなりたければ練習してきなさい!」と叱る指導をしていたのではないかと思います。先生にみていただくのだから、生徒は一生懸命練習するのが当たり前。そんな時代でした。

でも、さすがに最近は、練習しないことに対しては、叱らない先生も増えてきたように感じています。ただ、やはり、そうは言っても、ちょっとした困った行動に対しては、「やめなさい! ダメでしょ!」や「そんなことをしたら、お菓子やご褒美をあげないよ。」などと、つい、叱り口調や、ちょっとした脅かしを言ってしまうという先生や保護者も、もしかしたらいらっしゃるかもしれません。

このように叱ることは、一時的には効果があると思いますが、それだけでは本質的な問題解決にはなりません。その場だけで解決したように見えても、また違う場面で困った行動をする可能性が大いにあるのです。また、叱る指導を繰り返しておこなっていくと、子どもが自分に自信が持てなくなったり、物事にチャレンジする勇気や意欲がもてなくなってくる危険性もあるのです。そして、困った行動は改善されるどころか、罰を与えられたり、脅かされたりしたことで、相手のことを恨んだり、素直に聞き入れなくなります。その結果、ますます不適切な行動を取り、言うことを聞かなくなるのです。では、私たちおとなは、このような場合、どのように対応すれば良いのでしょうか。それには、ちょっとしたコツがあります。子どもと対等な関係で会話をすることです。今回はそのことについて、もう少し詳しく書いてみたいと思います。どうぞお楽しみに。

松井美香 まつい・みか

「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研『愛のピアノレッスン』にて手記を執筆。  
 <HP>松井美香ピアノ教室 <http://matsuimika-piano.net>  
 <ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeachangewithlove>  
 \*無料メルマガ好評配信中 (ご登録はブログにてお知らせしています)  
 <座談会特設ページ><http://www.gakken.jp/ongaku/smile>

第4回目の開催が決定しました!

# 「勇気づけのピアノレッスン」座談会

勇気づけの音楽家・松井美香先生を囲んだピアノ指導者のための座談会です。今回のテーマは「生徒との関係について」。日々のレッスンで、生徒とのコミュニケーションにお悩みやお困りごとはありませんか? 松井先生そして参加されるみなさまと一緒に解決策を見つけましょう! とくにお悩みごがない方も、ご参加OKです! どうぞお気軽にお申し込みください♪

●開催概要●

講師: 松井 美香先生

テーマ: 生徒との関係について + アドラー心理学ミニレクチャー

開催日: 2017年3月24日(金) 10:00~12:00 予定

会場: 学研ビル(東京都品川区)

詳しくはこちら ▶ <http://www.gakken.jp/ongaku/smile/>

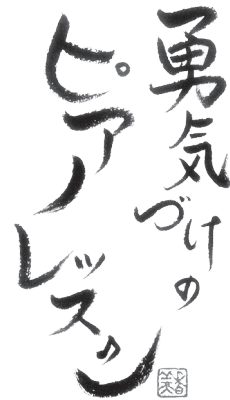
お申し込みはWEBで!

お早めにお申し込みください。



## Gakken

株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室  
 〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220  
 学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>  
 電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>  
 twitter @gakken\_music Facebook gakken.music

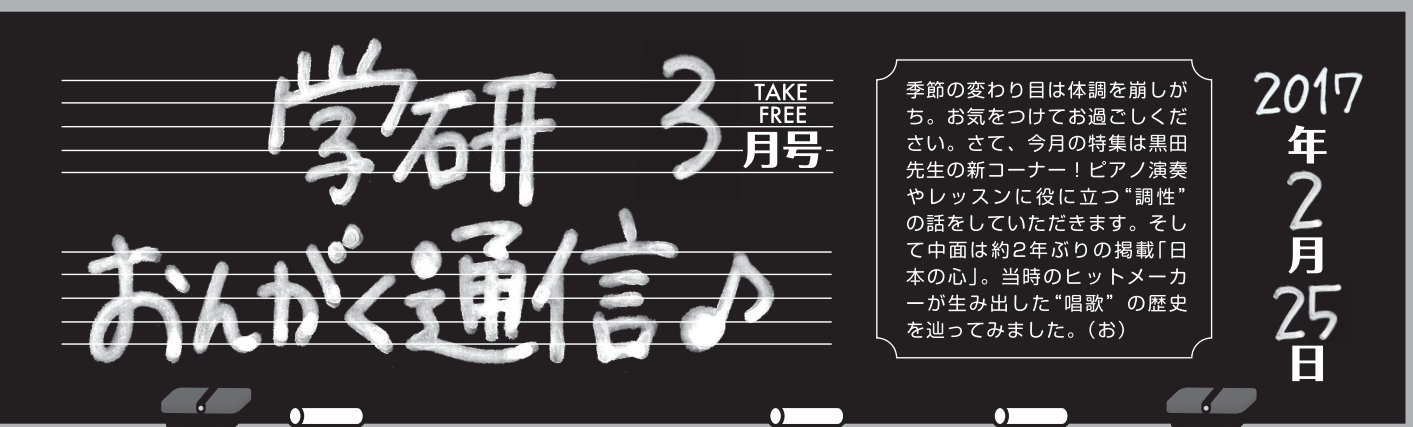


第36回

Gakken

株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室  
 〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>  
 電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>  
 twitter @gakken\_music Facebook gakken.music



季節の変わり目は体調を崩しがち。お気をつけてお過ごしください。さて、今月の特集は黒田先生の「新コーナー! ピアノ演奏やレッスンに役に立つ『調性』の話をしていただきます。そして中面は約2年ぶりの掲載「日本の心」。当時のヒットメーカーが生み出した「唱歌」の歴史を辿ってみました。(お)

2017年2月25日

## レッスンに役立つ!

### 調性のお話 黒田篤志

第1回 ~ 調性感を身につけよう! ~

#### メリット — 表現力アップ

メリットはズバリ表現力がアップすること。理由は次の3つです。

調性に敏感になる耳を養うと、感覚と感情が研ぎ澄まされ、曲のイメージを豊かに描く想像力が向上します。

調性がわかれば和音の流れが把握できるようになり、曲のストーリーが思い描けます。すると起伏に富んだ演奏をするための構成力が向上します。

調性音楽には時代ごとの特徴があります。また作曲家ごとに使い方のクセがありますし、調性固有の性質もあります。曲の特徴がわかれば、演奏の説得力が向上します。

#### 簡単な理論 — 楽典のおさらい

調性は音楽に欠かせないものなので、楽典にもよく登場します。理論がわかるとスッキリすることも多いはず。楽典のおさらいにも役立つのではないのでしょうか。

たとえば、音楽の3要素のひとつである「ハーモニー」は調性に欠かせません。「音名」を覚えれば調の名前がわかります。「階名」を知り「音階」のニュアンスが長調と短調でつかめれば「調号」も理解できるようになります。さらに、「和音の機能」や「カデンツ」などは調性を示す重要な役割を担っています。

#### 指導のポイント — 問いかげ

これらを踏まえたピアノ演奏を生徒さんに伝えるには、音の感じ方、鍵盤とのリンク、技術的な課題などクリアしたいことが盛りだくさんです。

今回の連載では、生徒さんへの「問いかげ」を中心に指導のポイントをご紹介します。調性にかんする「問いかげ」を適度に投げかけることで、的確かつ迅速に調性感を身につけてもらうことがねらいです。そして最終的には、理想的にレッスンを進めるためのオリジナル「問いかげ」集を作ってみてください。そのヒントになることを願っています。

次回からは、曲を用いてお話しします。

イメージ	感覚感情	音楽の3要素	リズム メロディー ハーモニー	この曲はどんな形?	このハーモニーで終わる感じがしない?	黒田篤志 くろだ・あつし 1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室「Lento レント」を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。 <a href="http://ameblo.jp/pianote0519/">http://ameblo.jp/pianote0519/</a>
ストーリー	全体形式 楽節	長調と短調	音名と階名 音階 調号と五度圏	曲の終わりはドミノ?	♭はいくつある?	
特徴	作曲家の個性 一般的な傾向 時代の傾向	和音	和音の機能 カデンツ	ほかにも同じような曲知ってる?	次の和音はどれがいい?	
		表現力アップ	楽典のおさらい	問いかげ		

## Gakkenの楽譜 こぼれ話

合本した「ソルフェージュ ドリル 幼児版」の表紙は、「やさしいおんがくドリル 幼児版」上巻のくまさんと下巻のうさぎさんがコラボ。シリーズ発刊以来おなじみの秋里信子さんが書き下ろしてくださったイラストです。(か)



左が「やさしいおんがくドリル 幼児版」上巻。右が「やさしいおんがくドリル 幼児版」下巻。

## 編集部の一問一答!

学研・音楽事業チームのスタッフに音楽の好きなところ、自分だけのこだわりなどを聞いてみよう! というコーナーです。

- 今月の回答者: (ゆ)
- Q: 好きな音楽は?  
 A: ミュージカルの音楽が大好きです♪
- Q: どのところが好き?  
 A: ここでは語りきれないので、次号もコーナーいただけますか?(笑)
- Q: 好きなミュージカル曲は?  
 A: ランペス・ウォーク / 『ME AND MY GIRL』よりすべてを賭けて / 『1789 -バスターフェーユの恋人たち-』より愛のテーマ / 『エリザベット』より



前回に引き続き“もっと『リズムのほん』を使いこなすためのポイント”をお届けします。

**ポイント 3** “拍子うち”はゆっくりとやるべし!

『リズムのほん』2巻から、左手で拍をきざみ、右手でリズムをたたき“拍子うち”を取り入れています。“拍子うち”は、両手それぞれの動きが違うので、ピアノ演奏への導入にも大きな効果があります。この“拍子うち”、“リズム”のセミナーでは受講者のみなさまに生徒になりきって取り組んで頂いていますが、ある受講者の方から「自分のレッスンよりも、あかね先生がずっとゆっくり“拍子うち”をしていて、ビックリです」というご感想をいただきました。「リズム」のセミナーでは、♩=50くらいのゆったりとした速さで“拍子うち”を行います。これくらいの速さから始めてリズムをからだに染み込ませ、生徒さんが慣れてきたら徐々に速度を上げていくと、譜読みをラクにこなすための土台をしっかりと作ることができますね。

**ポイント 4** 先生は生徒の鏡になるべし!

ポイント(3)でお伝えしたとおり“拍子うち”では、生徒は左手で拍をきざみ、右手でリズムをたたきますが、あかね先生は右手で拍をきざみ、左手でリズムをたたきます。つまり、生徒さんの鏡になるために、先生は左右を逆に“拍子うち”をしているのです。実際のセミナーでも、あかね先生は受講者と向かい合い、鏡になって“拍子うち”をしていただきますが、とてもわかりやすいです!慣れるまで大変かもしれませんが、脳トレ感覚で楽しく練習してみてください!

“もっと『リズムのほん』を使いこなすためのポイント”いかがでしたか?少しでもみなさまのお役に立ちましたら嬉しいです。ぜひレッスンに取り入れてみてくださいね。



“拍子うち”のやり方を動画でも解説しています!  
「リズムのほん2」拍子うち



「春の小川」「春がきた」「おぼろ月夜」、皆さんよくご存知ですね?春の歌の最高傑作と言われています。この3曲はいずれも岡野貞一(曲)・高野辰之(詩)によるもので、『尋常小学唱歌』に掲載されました。このコンビはこの他にも「故郷」「紅葉」「日の丸の旗」などの名歌(これらも『尋常小学唱歌』に掲載)を生み出しています。当時のヒットメーカー…といえるでしょうか。今回は、こうした名歌を生み出した「唱歌」の歴史を辿ってみました。

**1800年代**

- 1872年(明治5年)  
学制が公布され「唱歌」が小学校の一教科になります。ところが!教材もない!指導者もない!そこで…
- 1879年(明治12年)  
文部省の伊沢修二が「音楽取調掛(後に⇒東京音楽学校⇒東京藝術大学)を創設。アメリカから音楽教育者のルーサー・メーソンを招き教科書の開発や指導者の養成を進めていきます。そして誕生したのが『小学唱歌集』です。「蝶々」や「仰げば尊し」など、外国の曲に日本語の歌詞を付けたものが中心でした。

**1900年代**

- 1907年(明治40年)  
「唱歌」が必須科目になり、文部省は新たな教科書を編さんします。
- 1910年(明治43年)  
まずは、国語の教科書『尋常小学読本』から27篇の教材を選び、日本人が曲をつけた『尋常小学読本唱歌』を発行します。これと併行して、文部省は東京音楽学校に教科書の編さんを依頼。作詞、作曲ともに日本人による教科書を目指します。
- 1911年(明治44年)～  
そして、『尋常小学読本』(1学年～6学年までの全6冊)が出版されます(1914年にかけて)。その後、「唱歌」が「芸能科音楽」となる1941年までの約20年間使われていきます。

日本にピアノやバイエル教本を紹介した人!!!

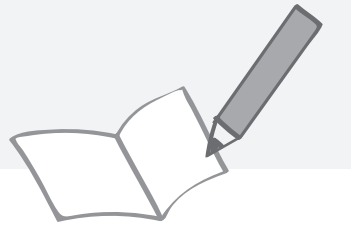
当時のヒットメーカー!?

ルーサー・メーソン      岡野貞一(曲)      高野辰之(詩)

この『尋常小学唱歌』に登場するのが岡野貞一と高野辰之です。ところが今でこそ作者がこの二人であることが判明しているのですが、当時、文部省は誰が作ったのかを公表していませんでした。今でも作者不明の曲は数多くあり、「文部省唱歌」と言われている曲はそうした事情によるものです。(く)

春爛漫。進学、進級のこの時季に、生徒さんの変化を上手にとらえてピアノ・レッスンにも生かしたいですね。こんなときだからこそ、新しい教材を導入するチャンスかも!というわけで…

レッスンの副教材、どうしましょう?

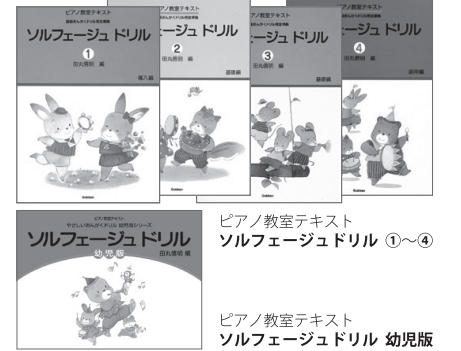


ここでは、レッスンでピアノを弾くこと以外に使う…つまり“ピアノを演奏しない「教材」”を『副教材』と呼びたいと思います。具体的には

- ソルフェージュ教材・教本
- ドリル・問題集
- 教具(カードやボード)

…といったところでしょうか。こういった副教材には、ちょっとした“つまずきのタネ”となるニガテ克服、レッスンでのちょっとした気分転換、また空き時間や自宅での自習用…などなど、いろいろな用途が考えられますね。そこで、簡単にですがジャンル別にご紹介したいと思います!

**1. ニガテ克服・ソルフェージュ**…視唱、聴音、リズム練習など複合的な要素から成るソルフェージュは、譜読みのためにもぜひ取り入れたい分野です。弊社のラインアップの《ソルフェージュドリル》シリーズなら“書く”だけでなく「うたう」ための新曲視唱の譜例、「聴く&書く」ための指導者用聴音譜もついていてマルチに対応できます!



**2. ニガテ克服・譜読み**…ソルフェージュの分野のなかでも特に“五線を読むチカラ”を養いたいなら、『みんなだいすき!おんぷカード』が断然おススメ!封入されている「おススメの使い方」に沿うのがやっぱり◎です。『みんなだいすき!けんぱんボード』を併用すると、読んだ譜を鍵盤で再現するチカラがつきます。



**3. 気分転換・ドリル**…楽譜についてあれこれに取り組んでもらって気分転換!レッスンに生かしましょう!《おうちでもできる!おんがくドリル》のシリーズなら自宅で自習も可能。ある日、ふと生徒さんの知識が増えている事に気付く…なんてステキじゃないですか?



そのほかにも、連絡帳代わりのレッスンノートを取り入れてみる、月謝袋をちょっと変えてみる…などなど、ぜひピアノ・レッスンにも“新学期気分”を取り入れてください!(か)

予習と復習のための  
おうちでもできる!おんがくドリル1  
予習と復習のための  
おうちでもできる!おんがくワークブック1

Music Quiz

Q ハイドンの「交響曲第45番嬰へ短調《告别》」の最後に出てくる演出は次のうちどれでしょうか?

- ①演奏者が順番に泣き出す
- ②演奏者が順番に退場する
- ③演奏者が順番に眠るふりをする

答え:2.演奏者が順番に退場する  
ハンガリーの大貴族エステルハージ侯爵に楽長として仕えていたハイドンは、侯爵の建てた居城に、家族とともに暮らしていました。しかし、楽団の中で家族とともに暮らすことを許されていたのは、ハイドンと3人の楽員だけ。多くの楽員は、夏の数か月間を家族と別れて侯爵の城に滞在しなければいけません。辛さに耐えかねた楽員は、ハイドンにこの生活を変えるよう訴えました。そこで、彼が考えたのは《告别》の最後に演奏者ひとりずつ演奏を終えて、譜台のろうそくを消して退場するという演出でした。ごくわずかだけの演奏者が残り、寂しく演奏をすることで、楽員たちの心情を表そうとしたのです。この演奏を目の当たりにしたエステルハージ侯爵は、翌日には楽員に休暇を与えました。気になる方は、ぜひ動画を探してみてください!

**新刊情報**  
書籍  
バジルの吹奏楽部員のためのココロとカラダの相談室  
楽器演奏編 改訂版 今すぐできる・よくわかるアレクサンダー・テクニーク  
著:バジル・クリッツァー

人気の吹奏楽本が、著者の指導経験の積み重ねを経て内容一新!呼吸法や音の出し方など楽器演奏のお悩みに丁寧に答えます。



金管楽器に特化して再構成した  
“高い音をムリなく出そう”  
新規書き下ろしによる解説  
“金管楽器のアンブシュア”

コラム  
“本番の緊張に負けてしまう  
危険が高い練習のやり方とは?”

ほか  
徹底した改訂に加えて、  
新規記事として掲載!

■B5判/108頁/  
本体価格1,500円(税別)